

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	06-01-16-04
事務事業名	出産祝金事務		備前市出産祝金支給条例
事業開始年度	平成18年度～平成20年度		
総合計画	大項目	基本目標	健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	簡素で効率的な行財政運営
	小項目	施策	その他の事務管理
問合せ先	担当課(室)	市民課	
	職・氏名	市民係長 大村恭子	
	電話	0869-64-1818	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	備前市出産祝金支給条例第2条第1項の規定に該当する者
目的(何のために)	新たに市民となった新生児の出産を祝福するため
行政活動(どのような方法で)	新生児1人につき1万円を支給する
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	給付要件該当者に対して祝金を支給することにより、少子化対策の一環である出生率を向上する

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	祝金支給人数		人		249	263
	日生		人		41	
	吉永(第2子)		人		8	
	吉永(第3子)		人		10	
	直接事業費		千円		2,620	2,490
	人件費		千円		629	1,389
	事業費計				3,249	3,879
	国県支出金					
	受益者負担					
市一般財源		千円		3,249	3,879	
必要人員		人		0.12	0.18	
結果指標名		単位		平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
結果指標	出産祝金支給人数		説明			
	結果指標量	人		59	249	263
	対前年比	%		-	422.0%	105.6%
	活動コスト	円		3,249,000	3,879,000	3,192,000
結果指標	単位当たりコスト	円		55,068	15,578	12,137

事業の成果			
成果指標名	祝金支給率	式又は説明	申請者数 / (H19出生届数-要件非該当者数)
成果指標量	17年度	18年度	19年度
対前年比	100.00	96.00	97.41
		96.00%	101.47%
到達目標値	100.00	到達目標年度	条例廃止 平成21年3月31日

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

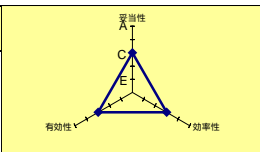
事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	C
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	少子化対策事業の一環として、目的・対象者等は妥当であるが、合併協議会での協定事項として平成20年度で事業廃止となる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	効率的な事務処理が行なえている。
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	課題認識	効率的な事務処理が行なえている。
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	課題認識	効率的な事務処理が行なえている。
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	課題認識	効率的な事務処理が行なえている。
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識	効率的な事務処理が行なえている。
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
職	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	課題認識	効率的な事務処理が行なえている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	課題認識	効率的な事務処理が行なえている。
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである	課題認識	効率的な事務処理が行なえている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	課題認識	制度についての周知を行い、支給漏れのないように努めた。
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	平成20年度で本制度が廃止になることから、出産祝金の支給漏れがないように支給要件を把握し、該当者への対応を行う。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	支給該当者総数	結果指標量
	成果指標量		100.00

総合評価		評価区分<A~E>	C
平成20年度に廃止となる事業のため、要件該当者の支給漏れのないよう対応していく。			



平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果